

企業主の声

自衛隊山梨地本便り

(発行) 自衛隊山梨地方協力本部 募集課広報班 山梨県甲府市内丸の内1-1-18 甲府合同庁舎 055-253-1591

山梨地本 Twitter



Instagram



先月号に引き続き、退職自衛官を雇用していただいている企業主の声を紹介します。

今月号では、株式会社富士製作所代表取締役社長三枝様より寄稿をいただきました。



弊社は昭和52年に創業し、今年で42年目を迎えました。初代がトラックのアオリを作る板金業として甲府市国玉の地で創業し、その後、自動車向けのブレーキ装置を製造する企業との取引を開始するにあたり、現在の所在地である甲府市落合町の山梨県機械工業団地に移転し、生産に従事しております。

そんな折、自衛隊退職者の再雇用についてお話があり、採用について検討することになりました。実際に援護課の方のご紹介で三浦さんに会社見学をしてもらい、仕事の内容を見て聞いて理解してもらった上で、面接を行いました。その時の表情の明るさ、ものづくりへの前向きな姿勢や、曖昧な表現をせず正確に物事を伝える能力が高く直感に狂いはなかったこと、また、そのような人材をご紹介いただけただことに本当に感謝したことを記憶しております。



事業内容と致しましては、自動車のブレーキ装置構成部品をメインに、サスペンションや動力伝達装置の構成部品の生産を行っており、顧客を通じて当社の製品が最終的には国内外のさまざまな完成車メーカーへ供給されています。また最近で

朝礼や社員教育の際にも、製造現場で必要となる能力について何度も話しをしますが、愚直に実践できる人材を育て上げることに非常に苦心しております。

山梨地本では、今後も県内の企業の皆様へ「退職自衛官」雇用のメリットをご説明し、国防を支えた力となる地域企業を支える力となるよう努めて参ります。



予備自衛官補・一般幹部候補生採用試験を実施

山梨地本は、今年度最初となる予備自衛官補採用試験及び一般幹部候補生採用試験を実施しました。試験の際には、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意して試験を実施しました。



口述試験(個別面接)では「大学在学中は予備自衛官補として教育訓練に参加し、卒業後は自衛官として入隊をしたい」「自分が持っている資格で社会に貢献したい」など熱い思いを聞くことができました。予備自衛官補とは一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」とし

1 予備自衛官補採用試験 4月17日(土)及び18日(日)の両日にわたり、雪化粧の富士山と満開の桜が映える北富士駐屯地において採用試験が実施されました。受験者は真剣な表情で筆記試験に臨んでいました。



2 一般幹部候補生採用試験 5月8日(土)、つつじが咲き誇る新緑の甲府合同庁舎で第1回目の採用試験が実施されました。長丁場の試験でも受験者は集中して問題に臨み、最後まで諦めない姿が見られました。

一般幹部候補生とは自衛隊の組織のリーダーとなる幹部自衛官を養成する制度で、幹部候補生学校で必要な知識と技能を修得し、卒業後は部隊を指揮する初級幹部として配置につきます。なお、6月26日(土)には第2回目の採用試験が行われ受付期間は6月18日までになっています。詳しく知りたい方は、山梨地本にご連絡ください。

予備自衛官1日間訓練実施

山梨地本は、令和3年4月25日(日)甲府合同庁舎において予備自衛官1日間訓練を実施しました。はじめに、新たに予備自衛官に採用された3名に対して本部長から辞令書が交付されました。辞令書を受け取った後、3名は予備自衛官の職務の宣誓を読み上げ予備自衛官としての第一歩を踏み出した後、予備自衛官制度の概要等について教育を受けました。

訓練終了後には「今後は予備自衛官として頑張っていく」といった意気込みが聞かれ、頼もしさを感じられました。山梨地本では、様々な施策により、予備自衛官の方々が安心して募集訓練に出頭できるよう努めます。



県内に勤める自衛隊OBの紹介（任期制）

自衛隊山梨地本便り

【発行】
自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

自衛隊では、精強性を維持するため、任期制隊員においては、その多くが20〜30歳代半ばで退職します。

これからの退職自衛官は、在職中に培った実行力、責任感、職種に応じた身に付けた知識と技術などは、再就職先からも高い評価を受けており、各地域の産業界等において十分に貢献出来る人材と信じます。

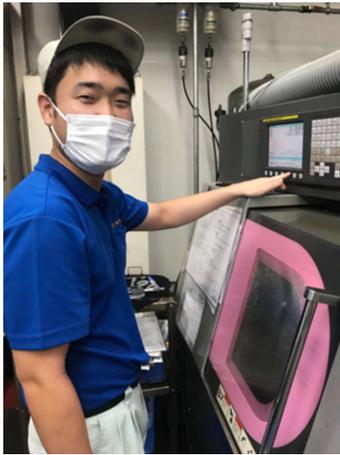
今回は、平成31年3月に陸上自衛隊を任期満了後、県内で再就職し勤務する自衛官OBを紹介いたします。

特に、部品の最終的な仕上げの工程においては、寸分のズレも許されないのでとても緊張します。しかし、自ら製造した部品が皆さんの乗っている自動車を支えていると思うと何事にも代えがたいやろがいを感ずります。

株式会社富士製作所
三浦 稜太

私は、平成31年3月任期満了に伴い、北富士駐屯地に所在する第1特科隊を退職し、4月より甲府市にある「富士製作所」に入社しました。

私の会社は主に自動車用ブレイキ部品の製造をしており、私はその中でピストン製造に携わっています。



現在入社して3年目となり、職場での立場も入社当初と比べて多くの仕事を任せて頂けるようになりました。難しい仕事も多いですが、やりがいを感ずるから日々頑張っています。

退職を考えている任期制隊員の方に伝えたい事は、退職を考えたときは自分のやりたいことを決めて、出来る事なら実際に見学をして退職後のビジョンを明確にすることが重要だと言うことです。私は今の職場をしっかりと見学したおかげで後悔のない結果となりました。



出陣式実施



4月22日（木）山梨地本は、令和3年度の業務に対する出陣式を実施しました。式では最初に令和2年度に募集への貢献度が高かった優秀広報官及び優秀事務所の表彰が実施され、本部長から賞状が授与されました。引き続き、勝どきを上げ、今年度の任務達成を誓うとともに安全祈願を行いました。



山梨地本は5月11日（火）県防災危機管理課からの依頼に基づき、山梨県警察学校で防衛講話を実施しました。「大規模災害時等における自衛隊の活動について」という題目で、本部長が、県内の各警察署で防災を担当している警察官の方々等に対し、講話を実施しました。講話では、災害派遣の法的根拠や過去の実績、災害時における自衛隊の権限について説明しました。

防衛講話実施

装備品紹介（人命救助システムI型）

自衛隊は、自然災害をはじめとする災害の発生時には、地方自治体などと連携・協力し、被災者や遭難した船舶・航空機の捜索・救助、水防、医療、防疫、給水、人員や物資の輸送など様々な活動を行っています。



②エアジャッキ



④チェーンソー



①エンジンカッター



③油圧カッター

